



東山魁夷《雪夜》1994年

平成 28 年度 長野県信濃美術館 東山魁夷館 第 V 期常設展示

しず かの
静かな楽しさ

2016年12月8日(木) ▶ 2017年2月7日(火)

休館日 毎週水曜日、12/28~2017/1/1

平成 28 年度の年間テーマは「私の履歴書」。東山魁夷（本名：東山新吉）は 1965（昭和 40）年、57 歳の時、20 日間にわたって日本経済新聞のコラム「私の履歴書」に連載を行いました。今年度は、東山の人生を連載のエピソードからひもといていきます。

1950 年の《道》で一般の知名度も上がり、人気画家として忙しい毎日を過ごすようになった東山は、ひたすら作品を発表し続ける中で、創作のもとになる風景を補充する必要があるようになりました。ちょうど東宮御所や吹上御所の皇居壁画といった、大きな仕事を終えた東山は、妻とふたり、1962 年に約 4 ヶ月の北欧旅行へと旅立ちます。東山は、かねてから北欧という、厳しい自然の世界にあこがれを抱いていました。帰国すると、《映象》や《雪原譜》など、北欧の澄んだ自然を題材とした作品を次々と口展に発表しました。静寂のただよふそれらの作品は、自然の力強さを感じさせます。

本展では、この北欧旅行で東山が描いたスケッチや習作の他、季節に合わせ秋から冬の景色を描いた作品を展示いたします。

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	取材地	No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	取材地
北歐風景						日展のための準備作					
1	ラプランドにて	1962	54	北歐風景スケッチ	スウェーデンラプランド	21	山かげの湖	1962	54	北歐風景スケッチ	ノルウェー
2	極北の湖	1962	54	北歐風景スケッチ	ノルウェー	22	映象大下図 B	1962	54	第5回新日展のための準備作	スウェーデンノルディングロー
3	フィヨルドの滝	1962	54	北歐風景スケッチ	ノルウェーフィヨルド	23	映象小下図	1962	54	第5回新日展のための準備作	スウェーデンノルディングロー
4	ウブサラ風景	1962	54	北歐風景スケッチ	スウェーデンウブサラ	24	雪原譜	1962	54	北歐風景習作	ノルウェーハルダンゲル高原
5	海に入る滝	1962	54	北歐風景スケッチ	ノルウェー	25	雪原譜大下図	1963	55	第6回新日展のための準備作	ノルウェーハルダンゲル高原
6	白樺の丘	1962	54	北歐風景スケッチ	スウェーデンレトヴィック	26	夕静寂スケッチ	1974	66	改組第6回日展のための準備作	長野県一岐阜県奥穂高
7	森装う	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	長野県長野市戸隠	27	夕静寂	1974	66	本制作	長野県一岐阜県奥穂高
8	ベルゲンの家	1962	54	北歐風景スケッチ	ノルウェーベルゲン	28	夕静寂小下図	1974	66	改組第6回日展のための準備作	長野県一岐阜県奥穂高
9	波止場の家	1962	54	北歐風景スケッチ	ノルウェー	29	聖夜	1994	86	本制作	ドイツ南部
10	ハルダンゲル高原	1962	54	北歐風景スケッチ	ノルウェーハルダンゲル高原	30	霧氷の譜小下図 A	1985	77	改組第17回日展のための準備作	ドイツ北部乗鞍山頂
11	森のささやき	1962	54	北歐風景スケッチ	デンマークフレデンスボー	31	霧氷の譜小下図 B	1985	77	改組第17回日展のための準備作	ドイツ北部乗鞍山頂
12	ノルウェーの春	1962	54	北歐風景スケッチ	ノルウェーウルヴィック	32	霧氷の譜	1985	77	本制作	ドイツ北部乗鞍山頂
白い馬の見える風景						33	静嵐	1994	86	本制作	長野県長野市茅井
13	芒野	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	ヨーロッパ	34	行く秋習作	1990	82	改組第22回日展のための準備作	ドイツ北部
14	渚の白馬	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	石川県千里浜海岸	35	行く秋大下図	1990	82	改組第22回日展のための準備作	ドイツ北部
15	草青む	1972	64	本制作	デンマークヒレロード	36	行く秋	1990	82	本制作	ドイツ北部
16	草青む	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	デンマークヒレロード	37	静かな町	1971	63	本制作	ドイツヴェイムプヘン
17	あらの曠野	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	山梨県	38	冬の旅小下図	1989	81	改組第21回日展のための準備作	秋田県鹿角市湯瀬
18	樹霊	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	山梨県	39	冬の旅	1989	81	本制作	秋田県鹿角市湯瀬
19	荒藜	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	山梨県御城河川河口湖町御城峠	40	『森と湖の国』カバー装画	1963	55	カット・その他	
20	綿雲	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	山梨県	41	冬華小下図 B	1964	56	第7回新日展のための準備作	

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	取材地	No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	取材地
42	とうかくしたま 冬華小下図A	1964	56	第7回新日展のための準備作		59	かつらりきやうしん 桂離宮書院	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"スケッチ	京都市 桂離宮
43	とうかくおしたま 冬華大下図	1964	56	第7回新日展のための準備作		60	ゆき せまてい 雪の石庭	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"スケッチ	京都市 龍安寺
44	フレデリク城を望む	1962	54	北欧風景スケッチ	デンマーク ヒレロード	61	いちりき 一力	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"スケッチ	京都市 祇園
45	はるのディアハーヴェン 早春のディアハーヴェン	1962	54	北欧風景スケッチ	デンマーク デアハーヴェン	62	うべい 上堀	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"スケッチ	京都市 天竜寺
46	じゆこん 樹魂	1962	54	北欧風景スケッチ	デンマーク	63	まつおじんじや 松尾神社にて	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"スケッチ	京都市 嵐山
47	あお ぬぼ 青い沼	1962	54	北欧風景スケッチ	デンマーク	64	さんぼういんからもん 三宝院唐門	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"スケッチ	京都市 醍醐寺
48	フレデンスポーの森	1962	54	北欧風景スケッチ	デンマーク フレーデンスポー	65	てら へい 寺の塀	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"スケッチ	京都市 大徳寺
49	うながぞ 運河沿いの街	1962	54	北欧風景スケッチ	デンマーク	オリジナルリトグラフィ集『北欧紀行 古き町にて』					
50	ヴィラットの運河	1962	54	北欧風景スケッチ	フィンランド ヴィラット	66	ほくわうふうしん 北歐風景展 会場の様子	1963	55	アルバム	
京洛四季						67	オリジナルリトグラフィ集『北欧紀行 古き町にて』	1964	56	初版	
51	しゆがくいんせつてい 修学院雪庭	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"スケッチ	京都市 修学院離宮	68	ちず 地図	1964	56	オリジナルリトグラフィ	
52	としく 年暮る	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"習作	京都市 京の町	69	コペンハーゲンの街角	1964	56	オリジナルリトグラフィ	デンマーク コペンハーゲン
53	ゆきふり 雪降る町	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"スケッチ	京都市 京の町	70	オールフスの古い町	1964	56	オリジナルリトグラフィ	デンマーク オールフス
54	ゆきのちと 雪の後	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"習作	京都市 中川付近	71	ストックホルムにて	1964	56	オリジナルリトグラフィ	スウェーデン スtockホルム
55	しんせつ 深雪	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"スケッチ	京都市 東山	72	ベルゲンの家	1964	56	オリジナルリトグラフィ	ノルウェー ベルゲン
56	りやうあんじへい 龍安寺塀	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"スケッチ	京都市 龍安寺	73	ヴィラットの教会	1964	56	オリジナルリトグラフィ	フィンランド ヴィラット
57	ふゆのちと 冬の庭	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"スケッチ	京都市 修学院離宮	74	オーデンセの古道具屋	1964	56	オリジナルリトグラフィ	デンマーク オーデンセ
58	さんげんいんろ 三玄院露地	1964~1966	56~58	連作"京洛四季"スケッチ	京都市 大徳寺						

* 展示作品は都合により変更となる場合があります。
* 制作年齢は満年齢です。

東山魁夷 略歴

明治41(1908)年横浜に生まれ、3歳のとき神戸にうつる。東京美術学校日本画科を卒業。昭和8(1933)年ドイツに留学。日展に出品をつづけ、22(1947)年特選受賞。31(1956)年日本芸術院賞受賞。40(1965)年日本芸術院会員となる。44(1969)年文化勲章受章。皇居新宮殿壁画、唐招提寺御影堂障壁画等を制作。平成11(1999)年5月6日逝去。享年90歳。

東山魁夷館

東山魁夷は信州について、東京美術学校の学生時代から、信州へのスケッチ旅行を重ね、「わたしの作品を育ててくれた故郷」と呼んでいました。平成2(1990)年、長野県に家蔵の本制作、スケッチ、習作、下図等が寄贈され、長野県信濃美術館に併設して東山魁夷館が開館しました。現在、収蔵品数は960余点に及びます。

作品の分類について

「本制作」：主に展覧会への出品を前提に描かれたもので、当館収蔵の作品は1970年代から晩年にいたる作品が中心となっています。

「スケッチ」「習作」：東山魁夷自身による分類で、スケッチが实景の写生であるのに対し、習作は構図や色彩に作者なりの解釈をほどこしたもので、内容的には本制作に一步近づいたものといえるでしょう。